

公衆衛生学 (心理科学部)

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》○米田 龍大 志渡 晃一 (非常勤講師)

【概要】

公衆衛生の原義は「すべての人の生命と生活を守る」ことである。この科目では、「生活の中で健康をどう考えたらよいのか」について広範囲に探求する。

なお、「テーマ、授業内容および学修課題」に付記されている(2-1)等は、数理・データサイエンス・AI (応用基礎レベル) モデルカリキュラムの学修項目の番号である。また、学修内容にはモデルカリキュラムにより指定された構造的なスキルセットを記載している。

【学修目標】

本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として、公衆衛生の目的・課題 公衆衛生の実践活動
公衆衛生を支える科学・技術について理解を深める。また、公衆衛生におけるAIの活用等のデータ駆動型社会における公衆衛生の在り方に関する知識も獲得する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部 (研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー (学位授与方針) との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。